

小学2年生まで拡大
 ⑤ 稲井地区および牡鹿地区における放課後児童クラブの開設

⑥ 相川保育所および雄勝保育所の建設

⑦ 交通安全の推進と消防自動車の更新

⑧ 中埠橋、石巻大橋の耐震補強工事

(5) 環境と文化を大切にす
 ちづくり

身近な自然や生活環境を守り、豊かな自然を次世代に継承するとともに、文化財の保護および生涯学習の推進とスポーツの振興を図ります。

◇主な施策

① 「3Rごみ減量ガイドブック」を全世帯に配布

② 視聴覚センターの設置

③ 地域情報通信基盤整備事業の推進

④ 生涯学習の推進

⑤ 総合型地域スポーツクラブの創設、運営などへの支援

(6) 地域に根ざした交流と連携のまちづくり

中心市街地の活性化と安心

して暮らせる魅力的な定住圏を形成するとともに、地域の特性を活かしたまちづくりを推進します。

◇主な施策

① 空き店舗を活用したコミュニティスペースの創出

② 定住自立圏構想の推進

③ 離島航路の維持確保

④ 田代島、網地島への定住促進と活性化

⑤ 地域交通の確立



▲ 4月1日(木)から運行を開始した「水押・開北・大橋・水明地区住民バス」と「山の手地区乗合タクシー」

問 総合政策課(内線4218)

6つの「市政の運営方針」に基づいた
 一般会計予算の主な内容

1. 協働のまちづくり

- 男女共同参画推進費(第2次計画策定など) 58万円
- 行政改革推進費(行政経営戦略会議の設置など) 102万円
- 蛇田支所等複合施設建設事業費(地質調査業務委託料) 1,300万円

2. 未来を担う青少年を育むまちづくり

- ふるさと大好き中学生育成事業費 34万円
- 石巻小学校、中里小学校、雄勝小学校耐震補強事業費 4億285万円
- 牡鹿中学校大規模改造事業費 2億2,331万円
- 門脇中学校屋内運動場改築事業費 3億4,110万円
- 子ども読書活動推進費(ブックスタートの実施など) 251万円

3. 活力あるまちづくり

- 企業誘致関係費 2億3,694万円
- 環境政策推進費(太陽光発電普及促進事業補助金など) 1,750万円
- 緊急雇用創出事業費(ワークシェアリングなど) 2億3,017万円
- 商工業振興対策費(住宅リフォーム補助金など) 7億8,039万円
- 北上川改修関連推進事業費(水辺の緑のプロムナード計画策定など) 179万円

4. 安心して暮らせるまちづくり

- 子ども医療対策費(医療費助成を小学2年生まで拡大) 3億4,091万円
- 放課後児童クラブ関係費(稲井・牡鹿地区新設、蛇田・大街道地区増設など) 1億764万円
- 相川保育所、雄勝保育所建設事業費 4億2,900万円
- 消防自動車関係費 4,486万円
- 中埠橋石巻大橋伊原津一丁目線橋りょう耐震補強事業費(中埠橋耐震補強工事など) 9,000万円

5. 環境と文化を大切にすまちづくり

- ごみ減量化対策費(3Rごみ減量ガイドブック作成費など) 1,508万円
- 視聴覚センター運営費 984万円
- 総合運動公園建設推進費(総合運動公園整備工事など) 18億2,189万円

6. 地域に根ざした交流と連携のまちづくり

- 商工業振興対策費(まちなか賑わい創出事業費補助金) 156万円
- 離島振興対策費 7,814万円
- 地域交通対策関係費 8,326万円
- 地域住宅整備事業費(公的賃貸住宅) 17億2,040万円

会計別予算一覧

(1万円未満四捨五入)

区分	予算額	増減率
一般会計①	626億6,000万円	3.1
特別会計②		
土地取得	16億7,493万円	911.4
診療所事業	6億3,119万円	▲19.2
おしかホエールランド事業	4,900万円	▲6.4
水産物地方卸売市場事業	6億3,883万円	100.4
駐車場事業	2,472万円	▲8.1
下水道事業	72億9,260万円	▲15.3
漁業集落排水事業	1,962万円	0.3
農業集落排水事業	4億636万円	▲32.4
浄化槽整備事業	6,229万円	5.8
国民健康保険事業	182億3,861万円	▲1.7
後期高齢者医療	15億6,141万円	17.1
老人保健医療	434万円	▲91.2
介護保険事業	104億2,062万円	4.5
小計	410億2,451万円	1.2
企業会計(病院事業)③	62億1,529万円	3.8
合計(①+②+③)	1,098億9,979万円	2.4

※増減率は平成21年度当初予算との比較で、▲は減少を表します。
※表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない個所があります。

平成22年度当初予算

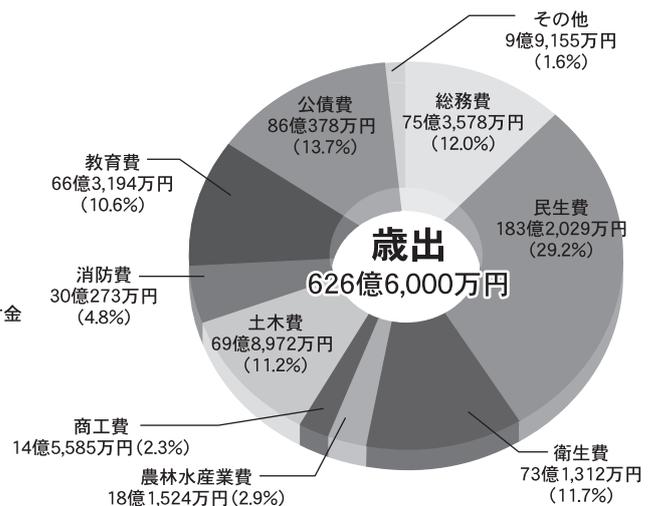
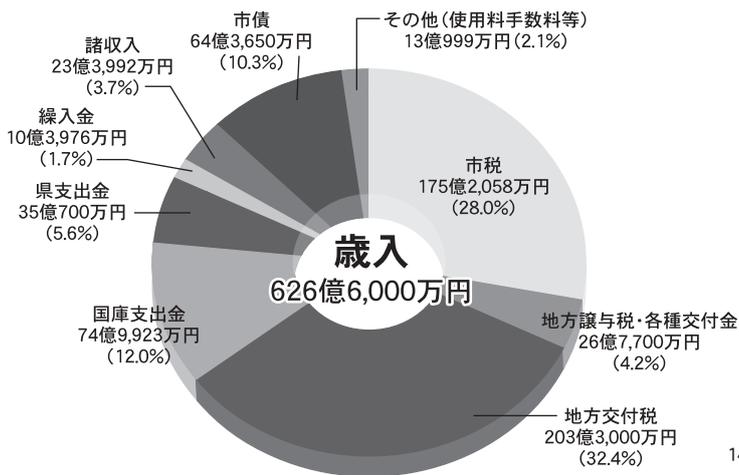
一般会計 626億6,000万円
特別会計 410億2,451万円
企業会計(病院事業) 62億1,529万円

平成22年度当初予算は、「将来を見据えた市政運営」を行うため、一般財源の確保と経常経費の節減に努め、市長のマニフェストを含めた総合計画実施計画を確実に実施するための予算編成としました。

また、子ども手当の創設や市立高等学校の授業料無償化など国の新規施策についても、事業の執行を見込み、当初予算に盛り込んでいます。

問 財政課(内線4053)

一般会計予算の内訳



※表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない個所があります。

市民一人当たりに使われるお金 383,021円(4月1日現在の人口で換算)

一般会計の歳出が、市民一人当たりどのような内容にどれくらい使われているかを表したものです。

- **総務費** (市庁舎の維持管理など市の総括的な事務に使うお金) **46,064円**
 - **民生費** (高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉の充実などに使うお金) **111,986円**
 - **衛生費** (病気予防のための各種検診や、ごみ処理などに使うお金) **44,703円**
 - **農林水産業費** (農林水産業の振興などに使うお金) **11,096円**
 - **商工費** (商工業の振興や観光施設の整備などに使うお金) **8,899円**
 - **土木費** (道路や河川、港、公園の整備などに使うお金) **42,726円**
 - **消防費** (火災や風水害、地震などの災害防除などに使うお金) **18,355円**
 - **教育費** (学校教育、社会教育の充実に使うお金) **40,539円**
 - **公債費** (事業を行うために借りたお金の返済金) **52,592円**
 - **その他** (議会費、労働費など) **6,061円**
- ※参考 市民一人当たりの市税額 107,098円